

超電導技術開発における 日本式オープンイノベーションとASCOT

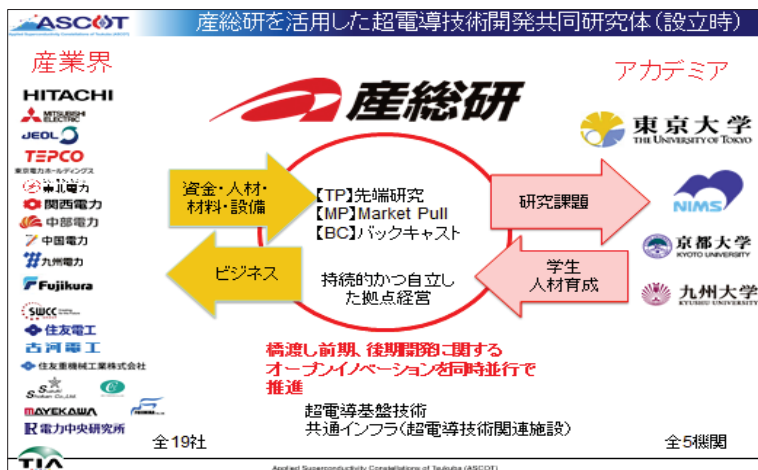
概要

超電導技術は、究極の省エネルギー技術として期待されています。しかしながら、超電導技術の社会への普及は、未だ十分とは言えません。超電導技術の社会への普及は長期の課題であり、次代を担う若手人材の育成を行うと共に、新規ビジネスモデル開発を強く推進することが望まれます。このような背景の下、産総研は、超電導技術に関する共同研究体「つくば応用超電導コンステレーションズ Applied Superconductivity Constellations of Tsukuba (ASCOT)」を設立し、ビジネスモデル創出型のオープンイノベーション拠点を構築することとしました。

1. ASCOTの概要

ASCOTは、現在、民間企業20機関、公的研究機関10機関で構成しており、以下の4つの活動を推進しています。

- (1) 技術にこだわりを持つ日本型オープンイノベーション
- (2) 次代を担う若手人材育成
- (3) 新規ビジネスモデル開発
- (4) 情報発信



2. ASCOTの具体的な取り組み

ASCOTは、日本型オープンイノベーションの理念の下で、超電導技術によるビジネスモデル開発、専門人材育成および情報発信を積極的に推進します。

■第29回国際超電導シンポジウム (ISS2016) 開催概要

開催日 2016年12月13日(火)～15日(木)
会場 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
主催 (国研) 産業技術総合研究所
後援 経済産業省、NEDO、低温工学・超電導学会、電気学会、TIA

内容 超電導に関する国内外の著名研究者による基調講演をはじめ、物理・化学、線材・バルク、電子デバイス、システム応用の各分野における第一線の研究者による招待講演、一般講演等、200件以上の口頭発表・ポスター発表。

■超電導スクール2016 開催概要

開催日 2016年12月12日(月)及び16日(金) 2日間
内容 12日 講義: 東京大学武田ホール
 16日 施設見学会: NIMS・産総研(つくば)、若手ポスター発表会
対象者 大学院生(大学院への進学予定者を含む)及び社会人(35歳以下)
募集要員 50名程度(大学院生優先)

※上記両日とも参加可能で、かつ、ISS2016(12月13～15日、東京国際フォーラム)で発表を予定している学生については、希望者の中から選考・採択された者に交通費等を支給します。